

# 平成29年度 輪之内町 学校教育指導の方針と重点

輪之内町教育委員会

学習指導要領では、自ら学び自ら考える力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」をよりいっそう育むことを目指している。また、「第2次岐阜県教育ビジョン」においても、引き続き、「自立力」「共生力」「自己実現力」の3つの力を育み、持続可能な地域社会づくりに貢献できる「地域社会人」を育成することを基本理念として掲げている。輪之内町でも国や県の教育理念を基に、輪之内町第五次総合計画で「確かな学力と豊かな人間性を育む教育」「次代のニーズに応じた教育」「特色ある学校づくりの推進」「教職員の資質向上と研修」を内容項目に掲げている。これらの「生涯いきいきと学習のできるまちづくり」という町の教育方針を受け、「未来に夢と希望をもち、生きる力を育む輪之内の教育」の基本理念のもと、学校教育指導における方針と重点及び力点を下記のように策定する。

## 〈地域及び児童生徒の実態〉

- (1) 本町は、安八郡の南端に位置し、東を長良川、西を揖斐川の両河川にはさまれた輪中地帯にある。面積は22.36km<sup>2</sup>、人口は約10,000人。稲作を中心とした兼業農家が大部分である。企業や大型店舗の進出及び住宅地の開発が進み、近隣の大垣市、羽島市等との交流も盛んである。
- (2) 地域の人々は、温順、素朴であり、教育に対する理解と関心は高い。一方で保護者の学校教育に対する願いや考え方は価値観とともに年々多様化している。
- (3) 児童生徒は、概ね素朴で穏やかであるが、やや受け身的である。

## 〈学校教育の課題〉

- (1) 幼保・小・中の一貫性のある指導を充実させ、確かな学力や個性を伸ばす教育を推進する。
- (2) 広い視野に立って情報化・グローバル化等の社会の変化に対応できるよう情報教育・国際理解教育等を推進する。
- (3) 「人権教育推進の町」として、地域ぐるみの道徳教育を推進し、心の教育の充実を努め、人間尊重の精神にあふれた心豊かな児童生徒を育成する。
- (4) 「ふるさと輪之内」を愛し、誇りに思うとともに、地域文化を尊重し、伝統を引き継ぐことができる児童生徒を育成する。
- (5) 自他の命の大切さを学び、状況を的確に捉え自ら考え行動し、災害等から命を守りきることができる児童生徒を育成する。

## 方 針

### 仲間の幸せを願い、豊かな心とたくましく生きる力の育成に努め、人間性豊かな教育の実現

- ◇幼保・小・中の一貫性のある指導を充実させ、一人一人が学ぶ喜びを感じ、確かな学力を身に付ける教育を推進する。
- ◇一人一人のよさや可能性を伸ばすきめ細かな教育活動を推進する。
- ◇地域との連携を深め、特色ある活動を展開し、開かれた学校づくりを推進する。
- ◇「ふるさと輪之内」を愛し、誇りに思う教育を推進する。
- ◇社会の情報化・グローバル化に対応できる情報教育・国際理解教育を推進する。
- ◇防災に対する知識と行動力を身に付け、危険を予知したり回避したりすることができる教育を推進する。

## 重点 及び 力点

◎力点

### 【学校経営】 全教職員が協力して活力ある学校経営をする

- ＜特色ある学校＞ ・幼保・小・中の一貫性のある指導を充実させ、各学校の児童生徒や地域の特色を生かした創意ある教育課程を編成・実施する。
- ＜開かれた学校＞ ・学校の教育方針や指導改善に向けての方針を受けた教育活動を積極的に公開し、学校評価や児童生徒の実態等を学校経営に生かし、開かれた学校づくりを推進する。
- ◎＜資質・指導力の向上＞ ・教職員の資質や指導力の向上のため、授業研究とともに、コンプライアンスについての校内研修を組織的・計画的に実施する。
- ＜危機管理＞ ・児童生徒の命を守りきることを最優先に考え、全教職員が危機意識をもって一人一人の安全・安心の確保に努め、学校内外の環境を見直すとともに、家庭・地域社会・関係機関等との連携強化を図り、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。
- ＜勤務の適正化＞ ・校務分掌や運営組織等を見直すなどして十分に業務のスリム化を図り、教職員の児童生徒に関わる時間を確保するとともに、教職員自身が心身共に健康で、やりがいをもって教育活動に取り組めるよう、学校経営の充実を図る。

### 【研 修】 自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける

- ◎＜校内研修＞ ・校内の主題研究を組織的・計画的に推進するとともに、教職員としての専門性や児童生徒の教育的ニーズに対応する確かな指導力を高める研修を主体的に行う。
- ＜個人研修＞ ・経験年数や職務に応じて、一人一人が個人研修課題を明確にし、具体的な目標と方策をもち、教職員としての資質や能力を高める研修に主体的に取り組む。
- ＜情報研修＞ ・分かる授業のためのICTの効果的な活用法及び情報モラル等、情報活用能力の向上に関わる実践的かつ効果的な研修を行う。

### 【教科指導】 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育て、学力向上を推進する

- ◎＜基礎基本の定着＞ ・指導目標と評価規準を明確にした指導計画のもと、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とそれらを活用し、思考力・判断力・表現力を育てる授業を実施する。
- ＜個に応じた指導＞ ・指導内容の系統性、教科間・学校段階間のつながりを踏まえ、一人一人の学力や学習状況に応じた多様な指導方法や体制、評価を工夫改善してきめ細かな指導をし、確かな学力の定着を図り、その状況や実態を見届ける。
- ＜学習集団づくり＞ ・互いの見方・考え方から学び合うことを通して、質の高い学びを実現する学習集団を育成するとともに、学習習慣を確立する指導を充実する。

### 【道徳教育】 自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる

- ＜全教育活動を通じた道徳教育＞ ・道徳教育推進教師を中心として、道徳指導別業を活用し、全教育活動を通して道徳教育を充実させる指導体制や指導計画を工夫改善する。
- ◎＜道徳の時間＞ ・道徳的価値の理解を自分との関わりで考えるとともに、多様な考え方や感じ方に接して物事を多面的・多角的に考えるなど、主体的に生き方についての考えを深める道徳の時間（特別の教科道徳）を充実する。
- ＜心を育む体験活動＞ ・ふるさと教育や「あいさつ・美化・ボランティア」への取組を通して、自己を見つめ、他を思いやる指導を充実する。

## 【外国語活動（小）】 外国語を通じて、コミュニケーション能力の素地を養う

- ◎<指導計画> ・小学校中学年と高学年、高学年と中学校との接続を踏まえた指導計画を工夫改善し、指導体制を整える。
- <指導過程> ・積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを体験する活動を設定し、指導方法を工夫する。

## 【総合的な学習の時間】 探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる

- <全体計画・指導計画> ・小・中学校の接続や各学校の目標を踏まえ、学習のねらいや内容、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続発展するよう全体計画や指導計画を工夫改善する。
- ◎<探究的な学習> ・身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、総合的に働かせるよう、体験活動と言語活動を意図的に設定した探究活動や指導・援助を充実する。

## 【特別活動】 所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる

- <指導と評価> ・児童生徒の自発的、自治的な活動（いじめ問題への取組等）を展開し、一人一人の児童生徒が自分に自信をもち、自分のよさや可能性を發揮して、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとすることができるよう指導と評価を一層工夫改善する。
- ◎<学級経営> ・学級の諸問題を解決する活動を通して、望ましい人間関係や学級集団としてのまとまりを育て、学級経営を充実する。

## 【生徒指導】 共感的な理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てる

- ◎<生徒指導（教育相談）体制> ・不登校や問題行動（いじめ、暴力行為、薬物乱用、性非行、インターネットを利用した誹謗中傷や違法行為等）については、全職員が危機意識をもち、早期発見・早期対応はもとより未然防止に重点的に取り組み、家庭や地域・関係諸機関等の情報共有と行動連携を強化し、組織的に対応する。
- <学年・学級経営> ・一人一人が個性を發揮し、存在感・所属感・達成感を味わい、望ましい人間関係を築くことができるよう、児童生徒の関わり合いを大切に学年・学級経営と授業を全校体制の指導により充実する。
- <生命尊重・倫理観・規範意識> ・全教育活動を通して、一人一人が自他の生命を尊重し、倫理観や規範意識を向上させることができるよう指導を徹底する。

## 【進路指導】 自己の生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる

- ◎<勤労観・職業観> ・望ましい勤労観・職業観が育つよう、他の教育活動との関連を図り、ねらいを明確にした体験活動（職場体験、係活動、清掃・奉仕活動など）を位置付けるとともに、事前や事後の指導を充実する。
- <ガイダンス（中）> ・一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて自分のよさを生かし主体的に進路選択ができるよう、個に応じた正確な情報提供や説明及びそれらに基づいた学習等のガイダンスの機能を充実する。

## 【健康教育】 運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる

- ◎<健康・安全・食> ・児童生徒の体力・運動能力、食生活等の生活習慣、心身の健康状態及び安全に対する意識・行動を的確に把握するとともに、他の教育活動との関連を踏まえて「健康・安全・食」に関する指導を工夫改善する。
- <運動推進> ・児童生徒が課題や願いをもって積極的に体力づくりに取り組み、日常的な運動実践の場や機会を充実する。
- <未然防止> ・児童生徒の健康・安全を守りきるために、学校と家庭、地域社会が連携した組織体としての総合的な力を發揮し、健康被害等の未然防止に万全を期す。

## 【特別支援教育】 一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる

- <校内支援体制> ・特別支援教育コーディネーターを中心として、こども園や関係機関との連携を図りながら、ケース会議等で児童生徒理解を図り、一人一人の教育的ニーズを正しく理解して、全教職員が組織的に合理的配慮の一層の充実に努める。
- ◎<個別の支援> ・本人・保護者との合意形成及び関係機関との連携の下、合理的配慮の継続的な提供及び定期的な見直しができるよう「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用し、一貫した支援を行う中で、一人一人が能力や特性を發揮し、主体的に活動できるよう指導内容や指導方法、評価を工夫改善する。
- <交流及び共同学習> ・特別支援学級等と通常の学級の児童生徒との交流及び共同学習を計画的・継続的に行い、社会性や豊かな人間性を育むことができるよう指導を充実する。

## 【人権教育】 不合理な差別をなくし、人権を尊重する望ましい人間関係を醸成する

- <望ましい人間関係> ・互いのよさを認め合い、温かく思いやりのある望ましい人間関係を醸成する指導を工夫改善する。
- ◎<いじめ・差別の根絶> ・いじめや差別を許さない学校・学級づくりに徹し、全校が一丸となった取組を継続的に行う。

## 【情報教育・図書館教育】 児童生徒の情報モラルを高め、情報化社会に対応できる情報活用能力を育てる 日常的に読書に親しみ、教養・価値観・感性を高めようとする態度を育てる

- <情報活用能力> ・情報活用能力における児童生徒の実態を把握し、段階表に基づいた系統的な指導をする。
- ◎<情報モラル> ・情報モラル（SNSを介したネットトラブル等）について、意図的・効果的な指導を行う。
- <図書館教育> ・学校図書館を利用しやすく整備し、図書の計画的利活用や読書活動の推進に取り組む。

## 【ふるさと教育】 「ふるさと輪之内」に学ぶ態度と輪之内を愛し、誇りに思う心を育てる

- ◎<ふるさと学習> ・地域を知り、理解するための活動や地域人材を活用した授業を展開するなど、地域に根ざしたふるさと学習を積極的に推進する。
- <国際交流> ・国際交流などを通して、グローバル化に対応した豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化を理解する力等を身に付けられるようにする。

## 【家庭学習の充実】

- ◎<家庭学習習慣> ・家庭学習の手引きを活用し、望ましい家庭学習の習慣の定着を図る。